『これ、お風呂！』　4歳児　10月　伏見こども園

エピソード

ホースから水を出し、砂場にたまっていく水の中を歩いているAくん。保育者が「水の中はどう？」と尋ねると、Aくん「気持ちいい」と、答えました。

少しした後、Bくんが違う遊びの場にあった風呂椅子を持って来てAくんが遊んでいる砂場の近くに並べました。その様子を見たAくんは、水たまりを囲うように風呂椅子を置いていき、Bくんも同じように並べます。途中で2人は、水の出るホースを風呂椅子の穴に入れては出てくる水の様子をじっと見つめながら、どんどん風呂椅子を並べていきました。Aくん「先生、見て」、保育者「これは何？」、Aくん「これ、お風呂！」、保育者「大きなお風呂だね」と話をすると、Aくんから笑みがこぼれます。

AくんとBくんは風呂椅子の上を一歩ずつゆっくりと進んだり、途中で水の中に落ちそうになったりしながら、繰り返し風呂椅子の上を進み、遊んでいました。

子どもの育ちや学び



・水たまりの中を歩き、水や泥の感触を体で味わう。
・友達の様子に目を向け、風呂椅子を並べてみようと思う。
・風呂椅子の穴に通したホースや風呂椅子の下から出てくる水の動きを目で見る。
・風呂椅子で囲った水たまりをお風呂に見立てる。
・風呂椅子の上を歩いて進んでみようと思い、やってみる。バランスとりながら進む。

保育者の思い

・日頃から砂場に水をためて遊んでいることが多いAくん。いつもと水の冷たさや感触の違いがあるか知りたかったため、「水の中はどう？」と、尋ねました。
・サーキット遊びの場にあった風呂椅子を運んで来て使ったり、風呂椅子の上を進んだりして遊ぶ姿から、この遊びとサーキット遊びがつながっていると感じました。お風呂に見立てた水たまりに風呂椅子を使うという考えからも生活経験とのつながり感じ、風呂椅子の本来の用途に近い使い方をしていて面白いなと思いました。
・バランスをとりながら風呂椅子の上を一歩一歩進む姿や、水たまりに落ちそうになりながらもやってみる姿が素敵でした。風呂椅子が円状に並んでいることや、ちょっとした不安定さ、バランスを崩しても水たまりに入れる面白さが繰り返しチャレンジしようとする気持ちを生んでいると感じました。

家庭だったら・・

子どもの風呂椅子の上を進むという発想が面白いなぁと感じました。でぃあシートを読まれたり、運動あそび参観で風呂椅子を使って遊んでいる子ども達の姿を見られたりして、どう感じられましたか？

ぜひ、感じられたことをお聞かせください。